

平成18年度 神戸国際会議場・神戸国際展示場の管理運営に対する評価票

1. 指定管理者

|          |  |
|----------|--|
| (1)指定管理者 | 財団法人 神戸国際観光コンベンション協会   |
| (2)指定期間  | 平成18年4月1日から平成22年3月31日  |
| (3)施設概要  | (1)神戸国際会議場<br>敷地面積6,759.14㎡、延床面積13,172.1㎡。メインホール(829㎡・692席)、国際会議室(387㎡)、レセプションホール(272㎡)中・小会議室18室(40～233㎡)<br>(2)神戸国際展示場(1・2・3号館) ※3号館は18年5月1日開設<br>敷地面積26,807.41㎡、延床面積36,268.26㎡。展示面積13,600㎡、会議室6室、パントリー4室 |
| (4)市支出額  | 協定締結額: — 決算額:10,000千円(修繕費超過負担金)  |

2. 管理運営の内容

| (1)管理実施状況  | 18年度の状況   |
|------------|---|
| ①施設の運営業務   | <p>コンベンションの振興により、地域経済の活性化、都市イメージの向上、文化・学術の振興、都市の情報化・国際化、市民ホスピタリティの向上を推進し、市民へ利益を還元すること(市民福祉の向上)を基本方針として運営。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用率向上に向けた取組み<br/>コンベンションビューローと連携を図りながら、学会等の誘致を強化<br/>利用者への定期的な訪問によるリピーター顧客の囲い込み<br/>主催者サポート業務の充実</li> <li>・広報活動の充実<br/>新たな施設パンフレットの作成、ホームページのリニューアル<br/>季刊誌「コンベンションKOBÉ」の発行(年4回、各6,000部作成)</li> <li>・安全・安心を優先した管理運営<br/>全職員参加の消防訓練実施、主催者と合同で消防訓練実施<br/>職員全員が市民救命士の資格取得、AEDの設置<br/>大規模な催事の際の事前打合わせなど、警察署・消防署と密な情報交換を実施</li> <li>・利用者ホスピタリティの向上<br/>コンベンションボランティアの協力のもと茶道・華道・折り紙等のアトラクションを実施<br/>(GRS&amp;IGF、国際海藻シンポジウム)<br/>通訳ボランティアと連携し、レストランや滞在に便利な情報を英文記載した「KOBÉ Restaurant Guide Map」を作成</li> </ul> |
| ②施設の維持管理業務 | <p>指定管理者の職員16名で管理運営にあたったほか、設備管理、清掃、警備等を外部に委託し、日常の管理運営業務を実施した。また、施設・設備の点検についても法定だけでなく法定外の定期点検も行った。施設・設備の改修・保全を以下のとおり行った。</p> <p>【施設・設備の保全及び更新について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中長期的な計画にもとづく改修・更新<br/>会議場の舞台吊物設備(麻ロープ)の交換<br/>展示場のガス吸収式冷暖房機・氷蓄熱装置の分解整備、消耗部品交換</li> <li>・利用者の安全を重視した改修・更新<br/>たわみが発見された4階ロビー吹き抜け部ガラスサッシの交換整備<br/>1号館搬出入用エレベーターの部品交換及び修繕</li> <li>・利用者及びコンベンションビューローの要望を反映させた改修・更新<br/>全館有線LAN及び無線LANネットワークの構築</li> </ul>   |
| ③その他の業務    | <p>環境対策への積極的な取組みとして、神戸市が推進する環境負荷低減施策「神戸環境マネジメントシステム(KEMS)」を取得。施設周辺の清掃を定期的実施。</p>  |
| (2)利用状況    | 18年度の状況   |
| ①施設利用状況    | <p>(1)神戸国際会議場 稼働率: 実績48% 目標55% 過去4年平均46%<br/>開催件数: 実績340件 目標375件 過去4年平均349件<br/>過去4年間の平均と比較すると、会議件数がやや減少しているものの、稼働率は2%の増加となっている。今後、目標を達成するため、比較的閑散期に実施される大学等の入学試験や各種企業の会社説明会等の誘致を強化する。</p> <p>(2)神戸国際展示場 1・2号館稼働率: 実績38% 目標40% 過去4年平均40%<br/>3号館稼働率: 実績38% 目標25%<br/>開催件数: 実績146件 目標174件 過去4年平均(1・2号館)137件<br/>過去4年間の平均と比較すると、3号館の建設により、1・2号館の稼働率が若干下がっているものの、3号館自体は目標を上回っており、全体の開催件数についても増加している。今後、目標を達成するために、1・2・3号館のそれぞれの特徴を活かしながら、関西に拠点を置く企業・団体が主催する集会や、会議場やホテルで収容できない大規模な試験・研修会の誘致を強化する。</p>   |

| (3)収支状況           |  | 18年度の状況 |
|-------------------|--|---------|
| ①収入状況(使用料または利用料金) | <ul style="list-style-type: none"> <li>施設利用収入<br/>実績: 698,625千円、目標: 654,367千円、過去4年間の平均: 594,983千円</li> </ul>   |         |
| ②収支状況             | 平成18年度神戸市負担額 $\Delta$ 127,510千円 (平成17年度 $\Delta$ 58,485千円)<br>(内訳) 市への納付金 $\Delta$ 131,250千円<br>行政財産使用許可使用料 $\Delta$ 6,260千円<br>修繕費超過負担金支出 10,000千円  |         |
| (4)その他            |  | 18年度の状況 |
| ①コンベンションへの市民参加    | <ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアとの連携(再掲)<br/>コンベンションボランティアの協力のもと、茶道・華道・折り紙等のアトラクションを実施<br/>(GRS&amp;IGF、国際海藻シンポジウム)</li> <li>通訳ボランティアと連携し、レストランや滞在に便利な情報を英文記載した「KOBE Restaurant Guide Map」を作成</li> <li>市民公開講座の開催支援・協力<br/>広報(プレスへの資料提供、チラシ配布、広報こうべへの募集記事掲載など)や当日受付などを支援<br/>(開催支援した公開市民講座)<br/>今夏の天候と熱中症に関する講演会(7/6)、第11回IUPAC国際農薬化学学会(8/10)<br/>第61回日本体力医学会大会(9/26)、第47回日本脈管学会総会(10/22)<br/>第27回日本肥満学会(10/28)、第26回日本看護科学学会学術集会(12/3)<br/>第5回日本フットケア学会学術集会(2/17)、第34回日本集中治療医学会学術集会(3/3)<br/>第71回日本循環器学会総会・学術集会(3/17)</li> </ul> |         |
| ②地域との連携           | 地域との連携として「港島たそがれコンサート」を運営支援  |         |

### 3. 利用者の満足度調査等

|                       |   | 18年度の状況 |
|-----------------------|---|---------|
| ①満足度調査の実施内容           | 主催者へアンケート用紙送付。回答数85(会議場69件、展示場16件)  |         |
| ②満足度調査の結果             | (1)会議場<br>・今後の利用について 「利用したい」「利用を考えるとよい」で88%<br>・スタッフの対応について 「とても良い」「良い」で91%、「普通」9%<br>・施設・設備について 「とても良い」「良い」で83%、「普通」14%<br>(2)展示場<br>・今後の利用について 「利用したい」「利用を考えるとよい」で88%<br>・スタッフの対応について 「良い」81%、「普通」19%<br>・設備・備品について 「充実している」50%、「普通」44%<br>・料金について 「安い」7%、「普通」80% |         |
| ③利用者からの主な苦情、意見とそれへの対応 | 設備関係への苦情については、施設の老朽化が進んでいるため、やむを得ない面もある。カーペットが汚ないという利用者の声に対し、全館クリーニングを実施し、かねてから要望が多かったLAN設備を充実させるなど出来るかぎりの対応はしている。  |         |

### 4. 選定委員会の評価

|              |  |
|--------------|--|
| 管理運営に対する総合評価 | ○ 5      ● 4      ○ 3      ○ 2      ○ 1  |
| 所 見          | 特に展示場3号館については、目標の稼働率を上回っており、全体としても市の負担額は好転している。今後も、立地条件を活かしたコンベンションの誘致推進に期待する。 |